

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校日産栃木自動車大学校
設置者名	学校法人日産学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画作成ガイドライン(https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/fa128f979d5604ce8f1fe4328bba3e79.pdf)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページに掲載し、学生及び外部に公開している</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公開</p> <p>https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/curriculum.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>規定出席率を充足したうえで、試験(筆記・実習)に合格することで履修を認定する。成績については、試験の点数により優・良・可の3段階で判定する。</p> <p><u>学習評価について</u></p> <p>〈自動車整備科、自動車整備・スポーツメカニクス科1、2年次、一級自動車工学科〉 学習評価は教科ごとに試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。また、合否の判定は「判定基準」により行う。</p> <p>〈期末試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われる。 実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験の一部を実施することがある。 <p>〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。 2) 学科、実習共に成績得点が60点(一級自動車工学科:70点)以上を合格とする。 ※国家2級および1級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする。 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められる。 ※優:80点以上良:60点以上(一級自動車工学科:70点以上) 可:60点未満(一級自動車工学科:70点未満) ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる。 <p>〈自動車整備・スポーツメカニクス科3年次〉 学習評価は教科ごとに期末試験、レポートの提出や課題の出来栄によって判定する。</p> <p>〈成績得点〉 各教科毎に、レポートや課題の内容により100点満点で評定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>半期ごと及び年間の期末試験結果の合計で相対順位付けを行い0から1まで数値化する。下位 1/4、下位 1/2 を明示する。</p> <p>学生への公表は掲示板への掲示とし、下位 1/4 の支援対象学生に対しては担任から口頭で通知する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公開</p> <p>https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/bad09913735f1e2af35054dc41cafed2.pdf</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p> <p>〈ディプロマポリシー〉</p> <p>自動車整備科、自動車整備・スポーツメカニクス科 1、2 年次</p> <p>1種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士(工業専門課程)を授与する</p> <p>1. 資格</p> <p>① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる</p> <p>2. 技術</p> <p>① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している</p> <p>② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている</p> <p>3. 人間力</p> <p>① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている</p> <p>② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している</p> <p>③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる</p> <p>一級自動車工学科</p> <p>1種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士(工業専門課程)を授与する</p> <p>1. 資格</p> <p>① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している</p> <p>2. 技術</p> <p>① 日産2級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している</p> <p>② 日産資格制度の日産2級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる</p> <p>③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している</p> <p>3. 人間力</p> <p>① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる</p> <p>② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている</p> <p>③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思を有している</p> <p>④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる</p> <p>スポーツメカニクス科 3 年次</p> <p>レースを通して実践的に自動車整備技術を修得するとともに、レースに運営に必要なチームワークからコミュニケーション能力を養う。</p> <p>1. 資格</p> <p>実践的な自動車整備作業ができる。また、国内 A 級ライセンスを取得できる自動車運転技術を身に付ける。</p> <p>2. 技術</p> <p>① 自動車整備作業の基礎となる金属加工技術を有している。</p> <p>② 重整備におよぶ自動車整備作業技術を有している。</p> <p>③ 高度な自動車の運転技能を有している。</p> <p>3. 人間力</p> <p>目標を共有するチームにおいて、そのチームワークを発揮できるコミュニケーション能力を有している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<p>ホームページにて公開</p> <p>https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/d341be7fc4219f916cd3e7470fc1f1a0.pdf</p>